



 食の安全を中心とした取り組み

CSR報告書 2019

目次 Contents

編集方針	2
企業理念／ステークホルダー	3
トップメッセージ	4
会社概要	5

お客様とともに

食の安全への取り組み	6
お客様とともに	10

地域・社会とともに

お客様とのコミュニケーション活動	11
------------------	----

株主・投資家の皆様とともに

株主・投資家の皆様とともに	15
---------------	----

お取引先とともに

お取引先とともに	16
----------	----

従業員とともに

従業員とともに	17
---------	----

環境活動

環境方針／環境マネジメント	21
事業活動のマテリアルバランス	23
環境保全活動	25

経営マネジメント体制

コーポレートガバナンスと内部統制	27
コンプライアンスの推進／リスクマネジメント	28

不二家のあゆみ	29
---------	----



編集方針

不二家では、「お客様」、「地域・社会」、「株主・投資家」、「お取引先」、「従業員」、「環境」の関わりについて、より多くの方にご報告することが、当社の果たすべきCSR(企業の社会的責任)であると考えています。2003年から環境報告書として、また2008年からはCSR報告書として毎年発行し、テーマごとに取り組み内容をご報告してきました。

本報告書では食品を製造しお届けする立場から、お客様の関心の高い「食の安全」を中心に具体的な取り組みについて報告しています。

●報告対象範囲

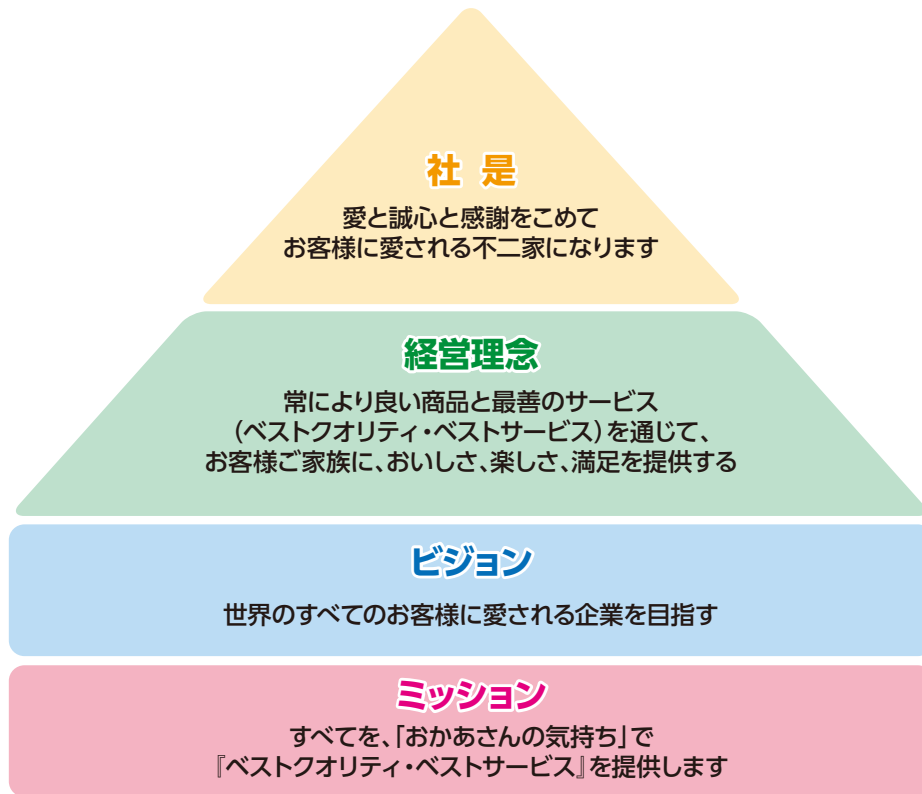
本報告書では原則として不二家単体を報告対象範囲としています。

●報告対象期間

2018年1月～2018年12月 ※一部、当該期間外における取り組みが含まれています。

●発行年月

2019年7月



ステークホルダーとの関係

不二家は、ステークホルダーの権利・立場や企業倫理を尊重する企業風土を醸成し、ステークホルダーとの健全な協働関係を構築することを目指しています。

①お客様に対して

品質にこだわり、技術を磨き、チャレンジ精神をもって、最高の商品と最善のサービスを提供しています。職場環境は常に清潔を保ち、商品の安全確保のため一切の妥協を許さず、商品及びサービスに対するお客様のクレームをゼロにする運動を推進しています。

②地域社会に対して

良き企業市民として、健全な企業活動により収益を確保し、税金を公平に負担し、地域社会の発展に寄与しています。また、社会貢献活動に積極的に関与し、地域社会の子供たちが健やかに育ち、ご家族の絆が深まるように活動しています。さらに、「環境基本理念」及び「環境基本方針」に基づき、低炭素社会、循環型社会の実現に寄与する「地球にやさしい企業」を目指し、活動しています。

③従業員に対して

一人ひとりを個人として尊重し、従業員の提案活動を歓迎する気風を醸成し、風通しの良い組織運営を推進しています。また、従業員の健康に配慮し、労働災害の撲滅を目指しています。さらに、平等な機会を保障し、公正な待遇を実現し、従業員が家族に対する責任を十分果たすことができるよう配慮しています。

④取引先に対して

取引先に不当な要求はしない、取引先の不当な要求に屈しない。取引は常に公平かつ公正で、その内容は、顧客の創造、産業界の発展に寄与するものであることを目指しています。

⑤株主に対して

全ての株主の権利及び平等性を実質的に確保し、健全な企業経営を推進することで企業価値を高め、利益を適正に還元することで受託者責任を果たし、株主との長期的な信頼関係の構築を図っています。

「食の安全を中心とした取り組みについて」

不二家は1910年に、現在の横浜元町に洋菓子屋として創業しました。以来、洋菓子・菓子・飲料・レストランなど、食に関する幅広い分野で100年を超える歳月をお客様とともに歩んでまいりました。そして食品企業として何より重要なことは、すべての消費者に対し、安全で衛生的な商品、食材を提供することであると考えております。

当社は「常により良い商品と最善のサービス(ベストクオリティ・ベストサービス)を通じて、お客様ご家族に、おいしさ、楽しさ、満足を提供する」という経営理念のもと、事業環境の変化に迅速に対応するため、全従業員一人ひとりが新たな課題に自らチャレンジし、より高いパフォーマンスが発揮できるよう、従業員教育の充実や、働き方改革にも継続して取り組みます。さらに、国際的な衛生管理手法である「HACCP」の導入を含め、事業の基盤となる食品安全衛生管理を着実に実行するとともに、「クレームゼロ」を目標に、業務に取り組んでおります。

また、当社は店舗や工場を通じ、地域・社会とともに歩んでまいりました。ペコちゃんや従業員を通して多くの皆様と交流を行っており、今後も地域で親しまれる存在でありたいと考えております。

各地で働く人材は、まさに会社の根幹です。労働災害の撲滅、働く環境の改善には特に力を入れており、着実に成果も上がっています。

社是に掲げた「お客様に愛される不二家になる」ために、企業としての安定的な成長とCSR活動への取り組みを通じ、ステークホルダーの皆様との信頼関係を維持発展させることにより、当社は社会に貢献でき、社会とともに発展できるものと考えております。

ここに記している内容は、不二家が社会に対して果たすべき事柄です。その取り組み姿勢、活動内容をご理解いただきますとともに、今後の活動に向けて、ご意見、ご感想をいただければ幸いです。



代表取締役会長
山田 憲典

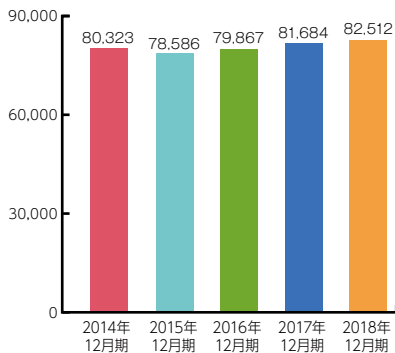


代表取締役社長
河村 宣行

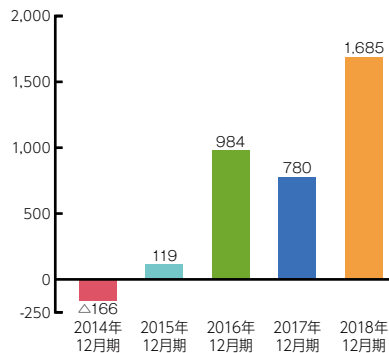
会社概要 (2018年12月31日現在)

社名(商号)	株式会社不二家
本店所在地	〒112-0012 東京都文京区大塚二丁目15番6号
代表者	取締役会長 山田憲典 取締役社長 河村宣行 (2019年3月26日就任)
創業	1910年(明治43年)11月
設立年月日	1938年(昭和13年)6月
資本金	18,280百万円
従業員数	正社員1,143名
主要関係会社	山崎製パン株式会社、株式会社不二家フードサービス、株式会社ダロワイヨジャパン 株式会社不二家東北、株式会社スイートガーデン、不二家飲料果実株式会社*、不二家乳業株式会社 不二家(杭州)食品有限公司、株式会社不二家システムセンター、不二家テクノ株式会社 B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社、日本食材株式会社 *2019年3月11日をもって不二家サンヨー株式会社より社名変更
営業部・支店	東京、大阪、名古屋、福岡、仙台、札幌など全国の主要地
店舗	東京、横浜、名古屋、大阪、福岡、札幌など全国に862店舗
工場	秦野(神奈川県)、平塚(神奈川県)、富士裾野(静岡県)、野木(栃木県)、埼玉(埼玉県)、 泉佐野(大阪府)、吉野ヶ里(佐賀県)、札幌(北海道)

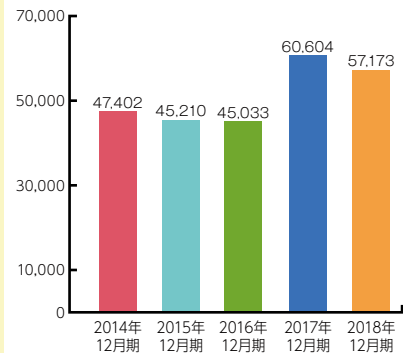
単体売上高(単位:百万円)



単体経常利益(単位:百万円)



単体総資産(単位:百万円)



事業内容

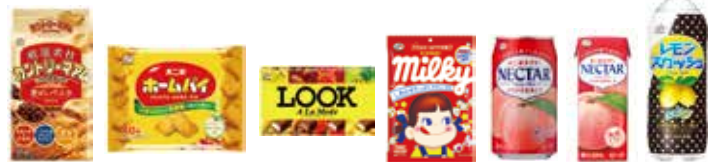
洋菓子事業

ケーキ、デザート、アイスクリームなど洋菓子類の製造販売、喫茶店及び飲食店の経営



菓子事業

チョコレート、キャンディ、クッキーなどの製造販売



*飲料は主に不二家飲料果実にて製造

※各商品などの詳細は、不二家ウェブサイトにてご覧いただけます。
不二家ウェブサイト URL <https://www.fujiya-peko.co.jp/>

その他事業

業務内容: キャラクターライセンス事業および不二家システムセンターの事務受託業務及び不動産の賃貸、管理など

お客様とともに

お客様と不二家の信頼関係は、商品のおいしさと同時に、安全な品質のうえに成り立っていると考えます。商品のおいしさを追求するとともに、お客様に安心してお召上がりいただける商品を提供する努力を、CSR活動の最優先課題として取り組んでいます。

食の安全への取り組み

品質管理体制

不二家は、社長直轄の組織である食品安全衛生管理本部を中心に、常にお客様の視点に立ち、さらなる満足をご提供するため、食品安全に努めクレームゼロを目指しています。

食品安全への取組として第一に、AIBやISO22000といった科学的根拠に立脚した食品管理システムを導入し、第二に、このシステムを有効に機能させるための安全衛生管理組織の確立を図り、第三に、システムを維持、運営、改善し、組織を活性化させる柱となる従業員教育を行っています。

2018年は、菓子製造3工場でISO22000の取得、洋菓子製造工場では野木工場とちぎHACCPの認証を取得し、更なる安全で安心な商品作りに取り組んでいます。さらに、現場に即した「本物の5S活動」により、より安全で衛生的な環境作りを行っています。

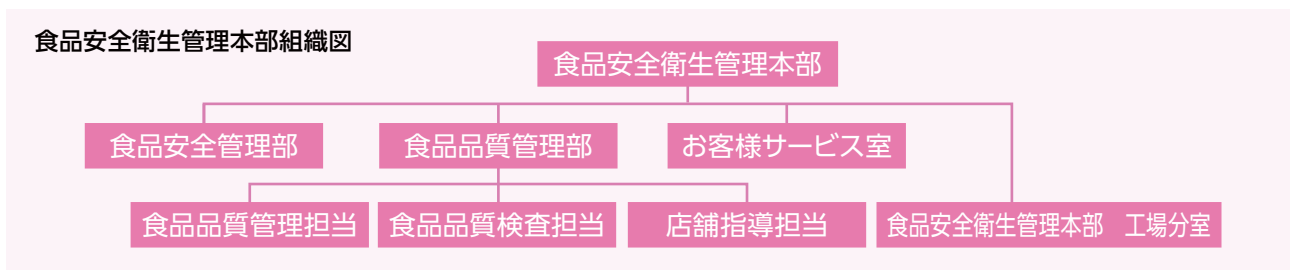
洋菓子店舗では、東京都内15店舗を対象に、HACCPに沿った管理手法として、東京都食品衛生自主管理認証の取得を行いました。

食品安全衛生管理本部は「食品安全管理部」、「食品品質管理部」、「お客様サービス室」の3部門体制のもと、組織強化を図っています。

また、各工場に食品安全衛生管理本部の組織として分室を設置し、業務の独立性を高め、チェック機能を強化するとともに、細菌検査体制などについても設備の充実、人員の強化を行っています。



店舗における東京都食品衛生自主管理認証実地審査の様子



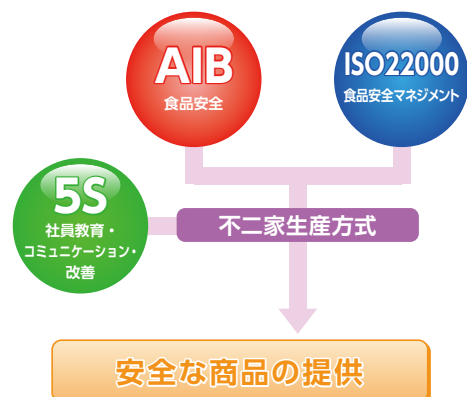
クレームゼロを目指す取り組み 不二家生産方式

不二家ではクレームゼロを目指すために、経営陣の強い意志のもと、次の3つに取り組んでいます。

- ①健全で安全な食品を提供するための「AIB国際検査統合基準」に基づくAIBフードセーフティへの取り組み
- ②HACCPの管理手法を基本にお客様に安全な食品を提供するためのマネジメントシステムである「ISO22000:2005」の運用*
- ③より安全で衛生的な生産環境作りのための、全員参加・全員活動の「本物の5S」への取り組み

これらの活動が工場において相互補完し、ひとつの「不二家生産方式」として統合・機能すべく、日々取り組んでいます。また、本社や店舗においても工場の取り組みを参考に活動し、クレームゼロを目指し、食品安全の維持・向上に努めています。

※ 菓子製造工場は、2018年4月にFSSC22000認証取得しました。



不二家におけるAIB(American Institute of Baking)フードセーフティの取り組みについて

不二家では2007年2月より、洋菓子製造5工場、菓子製造3工場のすべての工場でAIBフードセーフティに取り組んでいます。AIBフードセーフティとは、米国にあるAIB(米国製パン研究所)が食品安全衛生に関する法律・規則を基に独自に設定した「AIB国際検査統合基準」に則って、食品安全衛生管理を有効に機能させるために行う活動です。「AIB国際検査統合基準」には、原材料の入荷から製品の出荷までの安全性を確保するために、下記の5つのカテゴリで構成されています。

①作業方法と従業員規範

製品が従業員や生産工程によって汚染されることを防ぐ方法を示しています。

②食品安全のためのメンテナンス

施設や設備が衛生上、及び食品安全上の危害を招かないように、最適な設計や保全方法を示しています。

③清掃活動

製品の汚染を回避するための清掃に関するガイドラインを示しています。

④総合的有害生物管理

有害生物(鼠族、昆虫類)による食品の汚染を避けるための管理方法を示しています。

⑤前提条件と食品安全プログラムの妥当性

前提条件プログラムを施設全体に一貫して実施していることを確実にするための基準を示しています。

各カテゴリで守る事項が詳細に決められており、合わせると約100項目になります。

AIBでは、外部専門機関による監査があり、点数で評価されます。「AIB国際検査統合基準」の5つのカテゴリが各200点の配点を持ち、総合評価として、1000点満点で採点されます。

不二家ではこの外部専門機関によるAIB監査を受け、全ての工場で合格を獲得しています。

さらに、毎年、菓子製造工場の秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、洋菓子製造工場の埼玉工場、野木工場、泉佐野工場で、外部機関によるAIB監査を受けることで、AIB活動のレベルアップと工場の食品安全衛生管理の強化に努めており、2019年も順次実施していく予定です。また、当社会社不二家フーズサービスのレストラン店舗についてもAIB監査を実施しています。

また、継続的なAIBシステムの実行のため、各工場において月1回、全ての製造設備に対して、「AIB国際検査統合基準」に適合しているか確認のための自主検査を実施しています。チームメンバーは、製造部門・間接部門の全ての部門から職制だけではなく若手も代表として集め、自主検査を通して、食品への危害を発見できる力を実践的に身につけています。



AIB指導監査(平塚工場)の様子

自主検査によって抽出された不適合な箇所は、必要な改善措置を対象部署に提案し、改善措置については、月1回実施している「食品安全衛生委員会」で改善進捗確認を行い、危害を排除するサイクルを回し、常に食品安全システムの維持向上に努めています。

その他にも、フードディフェンス(食品への意図的な異物混入の防止)についても、各工場に品質保証カメラを設置するなど対策を進めています。

ISO22000およびFSSC22000への取り組み

不二家菓子事業では、食品安全体制の更なる強化を目的として、食品安全マネジメントシステム(ISO22000:2005)^{*1}および食品安全システム認証(FSSC22000)^{*2}を取得しました(2018年4月20日)。

食品安全マネジメントシステム(ISO22000:2005)の適用範囲は菓子製造3工場だけでなく関連する本社部門も含んでおり、菓子事業全体で食品安全について考え、日々取り組んでいます。

全体マネジメントの運営や統括として、社長・各部門長などをメンバーとして食品安全チームを編成し、定期的にFMS会議^{*3}を開催し、食品安全・製品品質に関する議論や各部門への指示を出しています。

さらに工場では工場長・各部署長をメンバーとした食品安全工場チームを編成し、FSSC22000運営のほか、FMS会議での指示事項を徹底し、工場の活動に繋げることで、本社部門と工場が一体となった食品安全管理体制の構築を図っています。

認証を取得してからは、さらに効果的かつ実態に即した運用を行うため、システムの検証・更新を行っています。特に、食品安全工場チームで実施する新ライン設置時のリスクアセスメントには以前にも増して重きを置いており、安全性を十分に確認した上で生産を開始しています。

2019年2月~3月には、認証取得後一年目のサーベイランス審査を受審し、4月11日に認証登録維持の判定をいただきました。今後も、ISO22000、FSSC22000の活動を軸に、皆様に絶対的に安心な製品をお届けできるよう努めてまいります。

※1 ISO22000:2005適用範囲 菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、輸出営業部、購買部、施設部
[統括部、広域営業部、食品品質検査担当、店舗指導担当、食品安全衛生管理本部洋菓子工場分室は除く]

※2 FSSC22000適用範囲 秦野工場、平塚工場、富士裾野工場

※3 FMS会議(Fujiya Management system) 食品安全システムが有効に機能しているかをチェックするために開催する会議

食品安全品質方針

- (1) 当社はお客様に満足いただける、安全で品質のよい商品とサービスを提供します。
- (2) 関連法規を守り、安全・安心な食品安全マネジメントシステムを確立し、運用します。
- (3) 食品安全マネジメントシステムの有効性を担保するため、継続的な改善を行います。
- (4) 食品安全教育を徹底し、食品安全意識の向上及び食品事故の発生防止に努めます。
- (5) 風通しのよい企業風土を作り、社内及び外部関係者との積極的なコミュニケーションを図ります。

食品安全品質方針の達成のため、各部門の目標を設定し、レビューするとともに、全体に周知徹底します。

2019年3月26日

株式会社 不二家 代表取締役社長 河村 宣行

外部審査風景



製造ラインを監査し、質疑応答の様子



改善活動の取組みについて熱心に議論する様子

Voice!

食品安全に関する取り組みをより一層強化するため、FSSC22000の認証取得を目標に、HACCPプランの構築を行いました。しかし、HACCPプランは構築するだけでなく、それを検証し改善し続けることが重要です。そのため新設備導入時や新商品立ち上げの際には、必ず食品安全工場チームでHACCPプランの見直しを行い、新たな危害を予測し防止する管理を実施しています。この取り組みを継続することで、より安全安心な商品をお客様にお届けしていきたいと考えています。

食品安全衛生管理本部 平塚工場分室 城間 祥大



「不二家食品安全の日」について

12年前の2007年1月に起きた一連の問題から、毎年1月11日を「不二家食品安全の日」と定め式典を行っています。不二家の従業員一人ひとりがこの問題を忘れず、一連の問題を風化させることのないよう今一度振り返ることを目的としています。2019年は、1月9日(火)に不二家本社にて、第12回「不二家食品安全の日」の式典を行いました。

当時中央区保健所で食品衛生監視員をされ、現在は食品衛生アドバイザーとして食品産業戦略研究所の主席研究員などをされている小暮実先生を講師としてお招きし、「保健所の現場から見た食品衛生～最近の食品衛生事情について～」と題してご講演いただきました。

小暮先生からは、食の安全・安心を脅かす問題(食品テロ・食中毒・食物アレルギー・異物混入などの健康被害があるものと、食品偽装・衛生管理不良事件・規格基準不適合など)への対策について、小暮先生が携われた事例を踏まえ、お話をいただきました。また、最近の食品事業者に求められているHACCP(ハサップ)の制度化や食品安全のグローバルスタンダードの考え方についても触れていただきました。

ご講演の内容を具体的に活かしていきたいと、従業員一同、決意を新たに、今後も不二家は「食の安全」への取り組みを強化し、お客様に「ベストクオリティ・ベストサービス」を提供してまいります。



先生講演の様子



会場の様子

防災への取り組み

不二家では、2012年6月に埼玉工場の製造ラインの一部を焼失しました。被害は軽微でしたが、この火災を機に防火・防災体制を見直しています。また、地震などの自然災害に備えるため本社と工場では「防災巡回点検」を定期的を実施しています。自然災害からの二次災害につながるリスクを摘み取り、消火栓や消火器などの整備が定位置にあるか、棚や書庫などが固定されているかを徹底して確認していきます。さらに本社では避難通路の確保、身の回りの整理整頓ができていないかを巡回し確認することや防災に関する教育も実施しています。



防災巡回点検の様子

本物の5S活動

2009年に工場からスタートした「本物の5S」活動は、これまで、洋菓子直営店舗、本社部門、営業支店へと活動を広げ、「安全で、生きがい、やりがいの持てる職場づくり」を目指し、全員参加の活動として推進してきました。

洋菓子製造工場では、三現主義（現場、現物、現実）の考え方で5Sチームが職場や作業に隠れたムダを積極的に見つけ出し快善することで成果を生み出しています。職場から3K・3Mの排除や工程管理・品質管理に取り組むことや、作業標準書を活用した指導を行い成果を出しています。菓子製造工場では、職場ごとに職制・社員・パートナー社員を含んだ5Sチームが、課題解決（労働安全衛生、収益向上、品質向上）に取り組むための具体策を考案・実施しています。また、洋菓子、菓子製造工場ともに外部講師を招いた5S研修を実施しています。営業支店においては整理整頓及び防災、安全衛生の視点で職場環境の改善に努めています。

今後も5S活動を通してよりお客様の笑顔のために何ができるかを各部門、職場のチームで検討し取り組んでいきます。

Voice!

5Sチームのリーダーになってから、現場を綺麗にしたい！クレームを無くしたい！という思いで取り組んできました。現場をよく観察し、従業員の意見を聞き、試行錯誤しながら5S活動を進めています。今期は、労働災害ゼロを目標に、現場の危険箇所の改善に取り組んでいきます。5S活動を通じて、安全・安心な職場作りを目指していきます。

富士裾野工場 ビスケット製造課 鈴木 まゆき



菓子営業本部では、2014年度に本物5S活動の取り組みをスタートさせました。営業での5S活動は他に例がなく、我々で考え進めてきました。見本室の整理整頓、書類の定置化など目に見える改善を進めると共に、営業業務分析を行い、いかに効率よく業務を行い結果に結びつけるかということに取り組ましました。今後も企業価値の向上を目指し、5S活動の取り組みを推進していきます。

近畿中四国統括部 近畿第二支店 川崎 健治



5S活動を通じて、働きやすい綺麗な職場を維持するようにしています。チーム活動や職場での会話から、従業員の方々の意見・要望をいただき、改善活動に生かしています。継続していくために、周囲に流されないよう強い意志を持って取り組んでいます。働きやすい綺麗な職場は、良い製品を提供でき、従業員のモチベーションにも繋がるので、今後も継続して推進していきます。

埼玉工場 製造課 並木 優太



お客様とともに

お客様への情報発信

不二家ウェブサイトでは、お客様が必要としている情報を積極的に発信しています。

お客様に安全な商品をお届けするための取り組みをお伝えする「不二家の取り組み」や、お客様から数多く寄せられる質問を回答とともに掲載する「お客様窓口」など、コンテンツを充実させ、積極的な情報発信を行っています。

今後も、最新の情報をすばやくお客様にお届けできるよう努めていきます。



お客様窓口

お客様からいただいた声

2018年1月から2018年12月の間に、お客様から19,043件のお問い合わせやご意見、ご指摘をいただきました。その内訳は、15,294件(80.3%)がお問い合わせ・ご意見であり、3,749件(19.7%)がご指摘事項(クレーム等)でした。

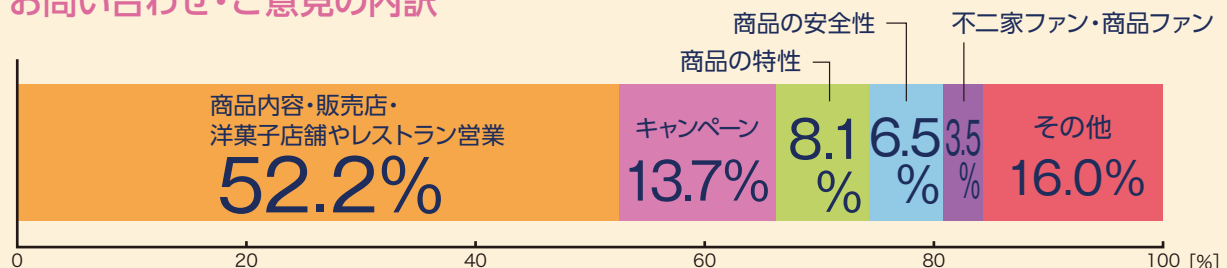
お問い合わせ・ご意見のうち、52.2%が商品内容や商品の販売店、洋菓子店舗やレストランの営業についてのお問い合わせであり、8.1%が商品の特性、6.5%が商品の安全性(アレルギーなど)に関するものでした。

お客様からのお問い合わせの多いキャンペーンなどについては、ウェブサイト内の情報ページにて随時公開しています。また、商品の特性(成分、カロリー情報など)については、ウェブサイト内の商品情報ページにて公開しています(洋菓子事業本部商品の一部を除く)。なお、洋菓子店舗では商品のプライスカードにアレルギー情報を掲載しています。

そのほか、フランチャイズオーナーの募集などについてのお問い合わせも数多くいただくため、ウェブサイトでは専用の「お問い合わせフォーム」を設置しています。

今後も、より幅広い情報提供ができるよう努力していきます。

お問い合わせ・ご意見の内訳



地域・社会とともに

お客様とのコミュニケーション活動

地球子どもサミット

2018年8月8日、衆議院議員会館国際会議室にて開催された「地球子どもサミット2018」に不二家が協力しました。「僕らの地球は僕らで守る」を合言葉に、第1回は「食問題(フードロス)」について議論されました。日本に居住する8~15歳の日本人、外国人の子供たち28名が参加し、「食」に関するディスカッションや、質疑応答が行われました。当社からも「大人先生」として社員が参加し、参加した子供達と活発なディスカッションが行われました。



衆議院議員会館国際会議室の様子

ペコちゃんが行く！ 不二家キャラバン隊

「ペコちゃんが行く！ 不二家キャラバン隊」は、不二家が2010年に創業100周年を記念して開始しました。ペコちゃんがキャラバンカー「ペコちゃん号」に乗って、全国の幼稚園や保育園の児童施設を訪問し、クイズやペコちゃんダンスで園児とペコちゃんと一緒に楽しめるプログラムです。2018年は、10都県47ヶ所の園を訪問しました。



クイズの様子



ダンスの様子

ペコちゃんキッズアカデミー

「ペコちゃんキッズアカデミー」は、自然と食の大切さを学び、家族の絆を深めることを目的に、2011年よりスタートした、不二家ファミリー文化研究所主催の親子招待イベントです。

2018年3月30日、「三富今昔村」(埼玉県所沢市)にて第8回を開催し、10組の親子が参加しました。午前中は、くぬぎの森に入り自然と触れ合い、午後からは苺のケーキ作りを行いました。自然や食について学びながら家族の絆を深め、ペコちゃんと一緒に楽しい思い出を作っていただけイベントです。



みんなで記念撮影



全身で自然を感じるくぬぎの森ツアー



ケーキの作り方の説明を熱心に聞く子供たち

職場訪問の受け入れ

不二家では、中学校や高校からのご要望にお応えし、職場訪問の受け入れをしています。

2018年には、年間で66校の職場訪問を受け入れました。不二家の歴史や企業概要、キャラクター紹介、商品紹介、商品企画のプロセス、商品にまつわるエピソードなどを、プレゼンテーションツールを使用してわかりやすく説明し、菓子業界や不二家に関する理解を深めていただいています。

また、生徒さんからの質問に答えたり、新商品を試食してもらうなど、真剣な中にも楽しい時間を過ごしていただいています。



熱心に説明を聞いている様子

地域貢献

こども霞が関見学デー

2018年8月1日、2日の2日間にわたり、農林水産省(東京都千代田区)で、「こども霞が関見学デー」が開催されました。会場にペコちゃんが登場し、大勢の子供たちと記念撮影を行いました。食品企業の取り組みを紹介する展示スペースでは、日本各地の名産品をイメージした商品(お土産カントリーマアム)のパネル展示を行いました。



ペコちゃんとの記念撮影

文京区・NPO・企業が協働した「こども宅食」プロジェクトに協力

～「ふるさと納税」を活用し、貧困子育て世帯に食品を届ける～

文京区は、NPO法人などと資金協力体制を形成し、経済的に困窮する文京区内の子育て世帯に、企業・フードバンク等から提供を受けた食品等を宅配する「こども宅食」プロジェクトを発足させました。不二家は、文京区からの依頼を受けお菓子を無償提供しています。このプロジェクトは資金調達において、文京区のふるさと納税制度を活用しています。返礼品を用意せず、集まった支援金を事業推進に活用し、企業は商品が無償提供しています。貧困世帯で暮らす子供たちは、衣食住に加え、学習機会やさまざまな経験の不足にもつながり、格差が拡大しています。



仕分けに協力するボランティア

ペコちゃん公園はだの

秦野工場のある神奈川県秦野市と不二家とのネーミングライツ契約により、秦野市カルチャーパーク中央こども公園の名称を「ペコちゃん公園はだの」とし、2018年5月1日にリニューアルオープンしました。

5月12日には、オープン記念イベント「みんな集まれ!ペコちゃん公園はだの」を開催し、約1,000名のお客様が来場しました。不二家菓子商品の配布、不二家キャラバン隊によるクイズやダンス、ペコちゃんグッズが当たるビンゴ大会、秦野工場製品の展示・販売などが行われました。ストラックアウトと輪投げで遊ばれたお子様には、キャンディのつかみ取りも楽しんでいただきました。



子供たちに大人気のペコちゃんたちのオブジェ



大勢の親子でにぎわう公園



ペコちゃんダンスを披露

夏休み企業体験学習

2018年8月7日、神奈川県秦野工場にて、夏休み企業体験学習の一環として「ペコちゃんと遊ぼう！オリジナルカントリーマム手作り体験」を開催しました。当イベントは、秦野市こども育成課が、地域産業や仕事の大切さを学ぶこと、子供同士の交流や親子の絆を深めることを目的に主催し、不二家が協力したものです。

多くの応募者の中から抽選の結果、親子12組(24名)が参加されました。毎年恒例の当イベントですが、今年から食品マネジメントシステムが強化されたことで工場見学ができなくなったため、カントリーマムの手作り体験に加え、食品廃棄物について説明しました。参加者の方々には、ペコちゃんとの交流を通して、食やコミュニケーションの大切さを学ぶとともに、楽しい夏休みの思い出を作っていました。



食品ロスのお話を熱心に聞く参加者



オリジナルカントリーマムの作り方を熱心に聞く子供たち



オリジナルカントリーマムの完成

元町ハロウィン

毎年恒例で開催されている「元町ハロウィン」が、2018年も横浜・元町で開催されました。お店のスタッフがさまざまな仮装でお子様を出迎え、店頭でお菓子を配る手作り感あふれるイベントです。

最近ハロウィンの人気が高まり、仮装して参加される親子も非常に多くなり、年々盛大になっています。ハロウィンを楽しみながらも、「ありがとうの気持ちを伝える大切さ」をお子様たちに体験していただけるのが、このイベントの魅力の一つです。

不二家は、お菓子とお子様を「ありがとう」の言葉でつなぐこのイベントの趣旨に賛同したこと、また、不二家にとって横浜元町は、1910年(明治43年)に洋菓子店を開いた「発祥の地」であることから、2007年より、ペコちゃん・ポコちゃんがハロウィンの衣装で参加。元町にいらしている方々との交流を深めています。



ハロウィン衣装のペコちゃんとポコちゃん



元町ショッピングストリートを練り歩くペコちゃんとポコちゃん

銀座柳まつり

2018年5月5日こどもの日に、第12回「銀座柳まつり」が開催されました。今回は「絆(きずな)」をテーマに、パレードやコンサートなど、盛りだくさんのイベントが実施されました。

ペコちゃんは、いつものオーバーオールから甚平姿に着替え、人力車に乗ってパレードに参加しました。レトロ遊び広場での記念撮影会では、見たことがない衣装に身を包んだペコちゃんに、集まったファンは大喜び。ペコちゃんも多くのファンに囲まれ、触れ合うことができ楽しんでいました。

銀座でもペコちゃんは大人気！大勢の方々と楽しい時間を過ごしました。



人力車に乗ってパレードに参加

不二家ファミリー文化研究所

【不二家ファミリー文化研究所とは】

不二家ファミリー文化研究所は、私たち不二家の「もっともっとファミリーの幸せに貢献していくためには何ができるだろう?」という思いから2003年4月に誕生しました。

テーマは「伝えていきたい自然 伝えていきたい家族の絆」。

自然から生み出される食材を扱う私たちにとって、言うまでもなく大切な「自然」を守っていくこと。そして、「ファミリーの不二家」という理念のもと、お菓子を通じて家族の幸せな時間を作るお手伝いをしてきたこと。それらのことを、今後も具体的に行動し伝えていくための研究所です。

【活動内容】

不二家ファミリー文化研究所は、「家族について考え、絆を深めていただけるきっかけ作りのお手伝い」や、「次世代に残していきたい自然や文化についての知識を、私たち自身が深め、伝える活動」「お菓子に対する興味喚起や情報の提供」などを行っています。

具体的な活動として、ウェブサイト「ペコちゃんの森」の運営や、長野県黒姫にある「ペコちゃんの森」の整備活動への参加、「食育」や「自然」、「家族の絆」をテーマにしたイベントの企画、運営及び支援をしています。

【ウェブサイト「ペコちゃんの森」】

不二家ファミリー文化研究所の設立とともに、ウェブサイト「ペコちゃんの森」(<https://www.fujiya-peko.co.jp/mori/>)を立ち上げています。

ウェブサイト「ペコちゃんの森」は、毎月25日に定期更新を行い、不二家ファミリー文化研究所が行うさまざまな活動を、楽しみながらご覧いただけるご報告の場になっています。また、お客様とのコミュニケーションの場としても活用しています。



ウェブサイト「ペコちゃんの森」コンテンツ

●親子イベントなどの公募

「食育」「自然」「家族の絆」などをテーマにしたイベントの紹介や参加募集の告知、全国の児童施設を訪問している「ペコちゃんが行く! 不二家キャラバン隊」の訪問先募集の告知などを行っています。

●「スマイル」をテーマにした川柳の募集

家族の絆を感じる出来事、笑顔になる家族とのエピソード、家族に起こった面白いハプニングなどを、川柳で募集しています。

●世界の文化についてのご紹介

「ERIKO&ペコちゃんの旅」では、モデル・定住旅行家のERIKOさんが、世界のさまざまな国・地域で、現地の人々の家庭で暮らし、その食文化や、生活習慣、季節のイベントや誕生日などのお祝いについて、ペコちゃんと一緒に、写真を交えて紹介しています。

●アンケート調査の実施

「家族」や「夫婦」、「日本の文化」など、さまざまなテーマを基にアンケート調査を実施し、調査結果を毎月ご紹介しています。

このほかにも、パソコンやスマートフォンでご利用いただけるペコちゃんの「壁紙カレンダー」の無料配信や、不二家ファミリー文化研究所が参加したイベントのご報告、黒姫のペコちゃんの森の様子なども、随時ご紹介しています。



株主・投資家の皆様とともに

IRツールによる情報開示

不二家はIRツールを使って、株主・投資家の皆様と綿密なコミュニケーションを図っています。各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。

IR情報

●ウェブサイト

<https://www.fujiya-peko.co.jp/company/ir/>

IR関連ニュースによる情報発信や財務ハイライトページなど、各種IR情報を充実させるとともに、より見やすく、わかりやすい情報の提供に努めています。



●報告書

事業活動の概況などに加え、不二家の新しい取り組みや新商品情報など、内容を充実させ、株主様のお手元にお届けしています。不二家ウェブサイトにも報告書を掲載しています。



株主優待制度

年1回の権利確定日*現在の株主様に対し、3月上旬に発送する「定時株主総会招集ご通知」に株主ご優待券を同封し、送付しています。

*権利確定日…毎年12月31日の最終の株主名簿に記載のある株主様

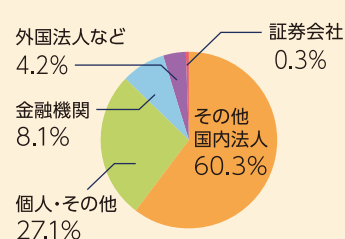


株主ご優待の基準及び内容

株主ご優待券は、当社グループ店舗（一部店舗除く）でご利用いただけます。株主様に当社商品をお試しいただき、ご意見などを承っております。

所有株式数	ご優待内容
100株から499株まで	株主ご優待券 500円券×6枚
500株から999株まで	株主ご優待券 500円券×8枚
1,000株以上	株主ご優待券 500円券×12枚

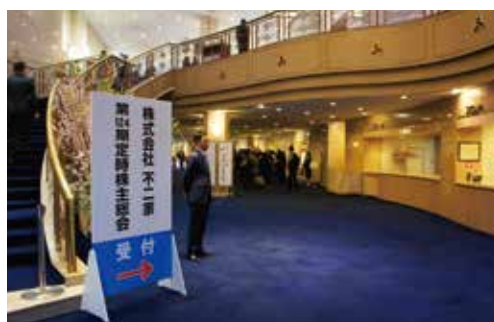
所有者別株式数



2018年12月31日現在

株主様アンケート実施

株主総会に出席された株主の皆様にはアンケートを実施し、当社に対する貴重なご意見をいただいています。今後も、株主総会を株主様の声を直接お伺いすることができる大切な機会と捉え、より多くの株主様にご満足いただける運営を目指してまいります。



株主総会の様子



株主総会で商品説明をする当社社員

お取引先とともに

常により良い商品・サービスをお客様に提供し続けることを通じて、社会の発展に貢献したいと考えています。このために、次のような基本方針に沿って必要な原材料の購買活動を行っています。

購買基本方針

- (1) 私たちは公正で透明な取引を常に心がけ社会の発展に寄与します。
- (2) 企業活動に関わる全ての法令を遵守し、業務遂行に努めます。
- (3) お客様から満足していただける「安全と安心」への取り組みを行い、良質な原材料の安定供給に努めます。
- (4) お取引先に対しては、いかなる時も、誠実で公平な対応を心がけ、公正で自由な競争取引を推進し、品質・コスト・技術力などの総合評価を行い、お取引先を選定します。
- (5) 改善意欲を強く持ち、積極的に行動し日々の業務を遂行します。
- (6) 地球環境に配慮した購買活動に努めます。

現地現認

不二家で使用する原材料は、現地に出向き、安全で安心な原材料の確保と、川上からお客様までの「つながり」を大切に、現地現認に努めています。



小麦(北海道)



さとうきび(多良間島)



苺(福岡)

持続可能な原料調達

WCF(世界カカオ財団)に加盟

不二家はカカオ栽培農家への技術指導や教育支援活動、過酷な児童労働のない社会の実現に向けた各種プログラムを推進している活動に賛同し、WCFに加盟しました。



World Cocoa
Foundation

URL: <http://worldcocoafoundation.org>

※WCFはカカオ生産国において、持続可能なカカオ経済を促進し、経済的・社会的発展や環境保護を実現していくことを目的としています。



カカオ(エクアドル)

RSPO(持続可能なパーム油のための円卓会議)に加盟

不二家は、持続可能な原料調達を目指す取組みの一環として、RSPOに加盟しました。

※RSPOは、パーム油生産企業、メーカー、小売、環境団体などにより設立された非営利の会員組織で、持続可能なパーム油の生産と利用を促進することを目的としています。

従業員とともに

人材育成

不二家の人事制度の最重要ポイントは、「従業員がやりがいのある仕事に携わり、夢を実現させるための仕組み作り」です。従業員自身が働く中で「幸せ」を感じるからこそ、商品・サービスを通じてお客様に「幸せ」を提供することへの近道と考えています。

2018年の取り組みとして、社内での世代交代が進む中、人材の即戦力化が求められており、若年層、新人教育を重視し、OJTをはじめ、コース・職種・役割・資格別などに作成した教育プログラムを実施しています。



【フォローアップ研修】

入社年次の若い大学・大学院卒社員に対しては、年次毎に段階を踏んだ内容のフォローアップ研修を行っています。この研修は課題設定力、問題解決力、コミュニケーション力とチームワーク力の養成に力点を置いた内容となっており、本人の社会人としてのキャリアデザインの構築や振り返りと再考の機会も設けているので、自ずと自己啓発を促すようになっています。また研修の成果を高めるため、研修の場だけでなく職場でも研修での学びや気づきを発揮できるよう、対象者の職場の上長と連携して、本人の職場での状況も情報としてプログラムに生かしています。若手の昇格者対象の「ランクアップ研修」も毎年継続して実施しています。新入社員教育のリーダー育成のための、OJTリーダー研修も実施しました。高校卒業の新卒社員対象の研修も毎年行っており、社会人としてのマナー教育からリーダーシップ力の強化等を目的に順を追ってフォローアップ研修を実施しています。またいずれの研修においても社内講師の時間を増やしており、当社ならではの教育ができるよう今後も体制を取っていきます。



【明治大学産学連携 管理職研修】

社内組織、働き方改革委員会の「学ぶ習慣」づくりの分科会から、社内の職場における中核層に対する研修の必要性が意見として出されたこともあって、本年は管理職対象の研修も新たに始めました。『明治大学産学連携 管理職研修』と銘打った当研修は、文字通り明治大学様にご支援、ご協力いただき、次世代だけでなく当世代の管理職も対象に、組織活性化を目的として、おおよそ月1回ペースで全18回を予定、2018年11月より開始しました。共通テーマは『企業経営の本質と市場対応に関する基本認識』であり、講師の先生方には大学教授の方々はもとより、様々な企業のトップの方もお招きして、アカデミックな理論面、プラクティカルな実地面とも大変有意義な講座となっております。

社内公募制度

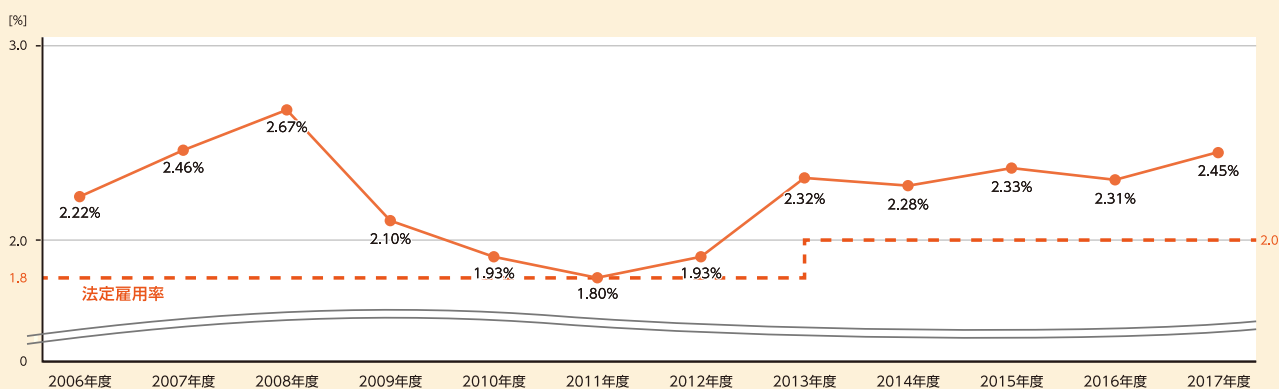
個人のモチベーションアップや、組織の活性化などを目的とした人事制度「社内公募制度」を導入しています。社員主体による配置転換の自由度を高めることによって、人材流動化促進、スキルや意欲のミスマッチ解消、適材適所を実現し、社員が最も力を発揮できる環境を整えるものです。

不二家における社内公募制は、「社内求人型」です。会社が必要とするポストや職種の要件をあらかじめ社内に公開し、応募してきた社員の中から必要な人材を選抜する仕組みです。この制度の導入後、自身のキャリアアップを目指し、複数の社員が公募を通して新しいポストに就いています。

障がい者雇用

全国の工場を中心に本部事務職等も含め、障がい者雇用に取り組んでいます。2004–2012年度までは法定雇用率1.8%以上に相当する障がい者雇用数を維持してきました。2018年3月末現在の障がい者雇用者数は2.42%相当とその基準を維持しています。2018年度より、身体、知的に加え精神障がい者も算定基準に入り法定雇用率が2.2%となりました。法律の趣旨に沿い、さらに取り組み強化する必要があると考えています。

障がい者雇用率表



高齢者雇用

法的、社会的要請の観点からだけでなく、社員にとって魅力的でかつ働きがいがある会社であるために、定年退職までの豊富な経験と技術を持っている社員の再雇用を行っています。満60歳に達する社員の再雇用の希望の有無や本人の勤務形態、勤務地等の労働条件の希望も考慮の上、本人が有するスキルに合致すると会社が判断した職務を提示して、合意の場合に継続雇用する「再雇用制度」(60歳定年後)を導入しています。2019年3月15日現在で110名が再雇用者として在籍しています。

育児と介護を支援

育児や介護を行う従業員が仕事と家庭を両立できるよう、育児介護を支援する制度を設けています。不二家での2018年度育児休業者は41名(うちパートナー社員15名)、短時間勤務制度利用者は44名(育休28名・その他16名)でした。男性の育児休業取得者は4名でした。時差勤務制度を導入しており、今後も制度利用を促進するために様々な施策を講じていきます。

労使協力関係

管理職及び経営に関する部署の人員を除く全社員が「不二家労働組合」に加入しています。労使間では、健全な企業経営と企業の永続的な発展を目指し、「労使協議会」「経営協議会」を開催して、経営側と組合側とが諸問題について忌憚のない意見交換を行っています。これにより、経営上の課題改善や、人事労務関係の諸施策導入など、スピーディな対応を行っています。

不二家はお客様に、安全な商品をお届けするために、従業員の安全・健康に配慮し、全従業員が安心して働くことの出来る職場環境作りが不可欠である、と考えています。そのため、労働災害の防止に向けた施策を実施しています。

労働安全に対して経営トップから強い意志が示され、全社的な労働安全方針の策定や安全対策の実施、情報共有などを行う「中央労働安全衛生委員会」と全国の工場、営業所・支店、また直営店舗（エリア毎）の「労働安全衛生委員会」を組織しています。近年は、法律改正や社会情勢の変化にも対応する為、現場での問題解決だけでなく、他事業所での微小災害も含めた労災の情報共有と対策の水平展開をしています。また業務執行会議において毎月、36協定に関する時間外労働を事業所ごとにチェックして必要であれば原因の分析と発生の予防策の検討もしています。また防災面での職場の状況チェックと管理の徹底等、委員会の機能を十分に活用するよう取り組んでいます。

近年これまでの不休、休業災害の要因を分析すると特殊な要因はなく、基本的事項に類する原因が散見されました。したがって、職場における基本の遵守の指導の為、職長教育が必要ではありますが、一般的な注意事項の徹底ではなく、当社版の教育が必要と判断し、来期以降は社内講師による職長教育をすすめることが決まっています。併せて労働組合も含めた中央労働安全衛生委員会メンバーによる、年に1回全国の工場巡回も継続して行っており、非定常の作業のチェックとして清掃作業の動画を撮影して検証しています。危険箇所の抽出とリスクレベルの設定と対策、そして同時に本質安全化の検討もすすめ、危険の除去だけではなく、働きがいのある快適な職場作りの確立も進めています。

また、車両事故災害の撲滅を目指して、速度管理、運転管理の為、テレマティクスの社有車への装着をすすめました。引き続き事故を3段階にレベル分けした連絡体制をとりながら、労働安全衛生委員会とさらに細分化した事業所単位での安全委員会を開催しています。2018年も繁忙期に向けて交通安全講習会も実施しました。

●不二家労働安全衛生基本理念

「常に活力ある企業であるために、

社員の安全と健康の確保を第一とし、

働きやすく、快適な職場作りを行います。」

- ①労働災害ゼロを目指します。
- ②健康管理の対策を講じ、社員の健康維持増進を進めます。
- ③正規社員だけでなく、パートナー社員など臨時社員を含めた全社員で労働安全衛生の取り組みに参画し、全社員で労働安全衛生の認識を共有します。

2018年スローガン

『愛』を行動に！進めよう「快適安全な職場づくり」



担当者の声



野木工場 総務・人事課 課長
松尾 悠史

野木工場では、従業員の安全が最優先であるという考えを基に「労働災害ゼロ」を目指して安全活動を行っています。毎週、行っている安全巡回では、従業員との会話を重視し、ヒヤリハット体験や、やりづらい作業がないかなどの情報収集をしています。これにより、従来の巡回のやり方では発見できなかった危険箇所が早期に見つけられ、改善に繋がっています。今後も、声掛けや従業員教育を行い、全従業員が安全への意識を持って働ける環境を構築していきます。労働安全は、人の人生を大きく左右する可能性があります。着実に安全活動に動んでいきます。

社内情報の共有

不二家は、部署を越えて横断的に集めた社内若手メンバーを中心に小委員会を運営し、2種類の社内報を発行しています。

毎週金曜日に発行している週刊社内報「WEEKLY Sweeeet!! (ウィークリースウィート!!)」は、社内イントラネットに掲載。社内情報のいち早い共有を目的に、各事業部や、工場、本社部門に加え、不二家グループ各社の情報を毎週発信しています。新商品や新店舗、工場やエリアごとの取り組みやイベントなど、さまざまな情報を紹介しています。



「WEEKLY Sweeeet!!」



「Sweeeet!!」

年3回発行している冊子の社内報「Sweeeet!! (スウィート!!)」は、「今の不二家をみる! 明日の不二家を考える!!」をテーマに、経営者からの情報発信をはじめ、日常業務で役立つ企画や、新商品情報、従業員の趣味や意外な一面を紹介するコーナーなどバラエティに富んだコンテンツを掲載し、従業員間のコミュニケーションツールとしても活躍しています。



社内報編集ミーティングの様子

担当者の声



経営企画室
広報IR部 広報室
土田 愛

「WEEKLY Sweeeet!!」「Sweeeet!!」は、工場や営業支店、商品企画部、購買部、経理部、総務部、広報室といったさまざまな部署の若手社員で制作を担当しています。社内報という社員のコミュニケーション活性化ツールを作り上げる過程で、制作担当者自身も他部署の情報を知り、通常業務では接しない社員と接することで、コミュニケーションの向上を図っています。編集チームで社長インタビューやグループ会社の取材を実施し、トップからのメッセージや現地での取り組みを、よりリアルに伝えることを意識しています。

社員の業務に役立ち、また社内での会話のキッカケになれるよう、さまざまな部署の情報をなるべく多く、タイムリーに「WEEKLY Sweeeet!!」で伝えること、そして紙媒体の社内報「Sweeeet!!」では、より多くの社員に登場してもらうことに努めています。

環境活動

不二家は、省資源、省エネルギー、CO₂削減などの環境保全問題への取り組みを通して、より良い商品とサービスをお客様に提供できるよう努めています。ISO14001活動の中で、従業員の環境意識向上にも取り組んでいます。

環境方針

不二家は「環境基本理念」「環境基本方針」に基づいて、従業員一人ひとりが当社の果たすべき責任と役割を認識し、低炭素社会、循環型社会の実現に寄与する「地球にやさしい企業」を目指してまいります。また、積極的に地球環境、生態系への負荷を低減し、気候変動リスクを常に意識しながら生物多様性の保全と資源の有効活用に向けた取り組みを継続的に推進することにより、持続可能な社会に貢献してまいります。

〈環境基本理念〉

- この恵み豊かな地球環境を守り、健全且つ安全で自然環境を含む生態系が保全されることが人類共通の重要課題であると認識いたします。
- 株式会社不二家は「食」を通じて、人々の健全と安全を守るとともに、豊かさ、そして安らぎを育み、生活文化創造に貢献してまいります。
- 今後は、さらに事業活動のあらゆる側面で地球環境への負荷を最小限とするよう努力し、「環境との調和」を図るよう努めて、人と自然との共生を図り、「地球環境にやさしい企業」を目指して行動してまいります。

〈環境基本方針〉

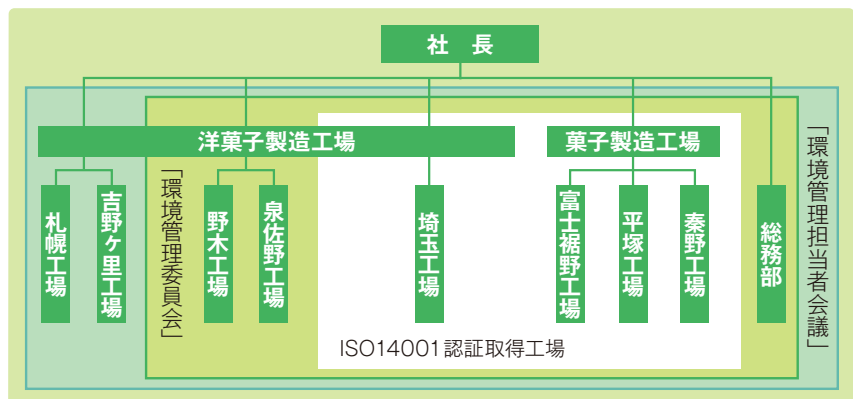
- (1) 事業活動、商品、業態、サービスなどがかわる著しい環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進するとともに、技術的、経済的に可能な範囲で、環境目的、目標を定めて、環境保全活動の継続的な向上、改善を図ります。
- (2) 環境関連の法律、規制、協定などの厳守はもとより社会要請に応える環境管理体制の整備と充実を図ります。
- (3) 事業活動における省資源、省エネルギー、廃棄物の削減、リサイクルおよび環境汚染物質排出量の削減に取り組みます。
- (4) 地球における緑化、環境美化活動、環境保全への支援、活動に取り組みます。
- (5) 全従業員に対して環境教育や啓蒙活動を積極的にを行い、環境保全に関する意識向上を図ります。

環境マネジメント

【マネジメント体制】

不二家では、環境方針を軸にISO14001に基づく環境マネジメントシステムを運用し、環境マネジメント体制の強化と、迅速な行動・コミュニケーション強化を図るため、各工場を社長直轄の体制としています。また、各工場には「環境管理委員会」を設置し、省エネルギーや廃棄物削減等の目標達成のための取り組みとパフォーマンス達成状況や環境関連法規の改正、遵守状況を毎月確認し、組織的に推進することで、継続的な改善を図っています。

さらに、全工場間の環境情報や取り組みを共有する目的で、「環境管理担当者会議」を定期的で開催し、目標や課題への具体的解決策を検討し改善への行動に結び付ける環境マネジメントを推進しています。



内部環境監査

ISO14001認証取得工場では、ISO14001:2015年版の規格に基づき、各工場の内部環境監査員が相互に連携して監査を行い、環境マネジメントシステムが適正に維持されていることを確認しています。

内部環境監査の結果は経営層に報告され、環境マネジメントレビューの際の重要な資料となります。



菓子製造工場のISO14001認証審査の様子



埼玉工場のISO14001認証審査の様子

環境教育・緊急事態訓練

環境マネジメントシステムの運用には、システムを運用する従業員一人ひとりの意識向上、適切な知識の取得が欠かせません。ISO14001認証取得工場では、全従業員を対象とした環境教育を実施して、環境保全に関する知識レベルの向上に努めています。また、各事業所では、災害・事故などによる環境汚染の防止及び緩和を図るため、対応の手順を定めるとともに、緊急事態を想定した訓練を定期的実施しています。



緊急事態訓練の様子

Voice!

富士裾野工場では、凝沈槽より未処理汚泥が漏洩した事態を想定して排水処理装置の緊急時対応手順に沿って教育を実施しています。手順、操作方法を説明し、環境への影響についての確認を行っています。今後につきましても、日々の点検を確実に実施し、緊急事態が発生しないよう業務に取り組み、万が一発生したときも、手順通り行動できるよう教育を実施していきます。



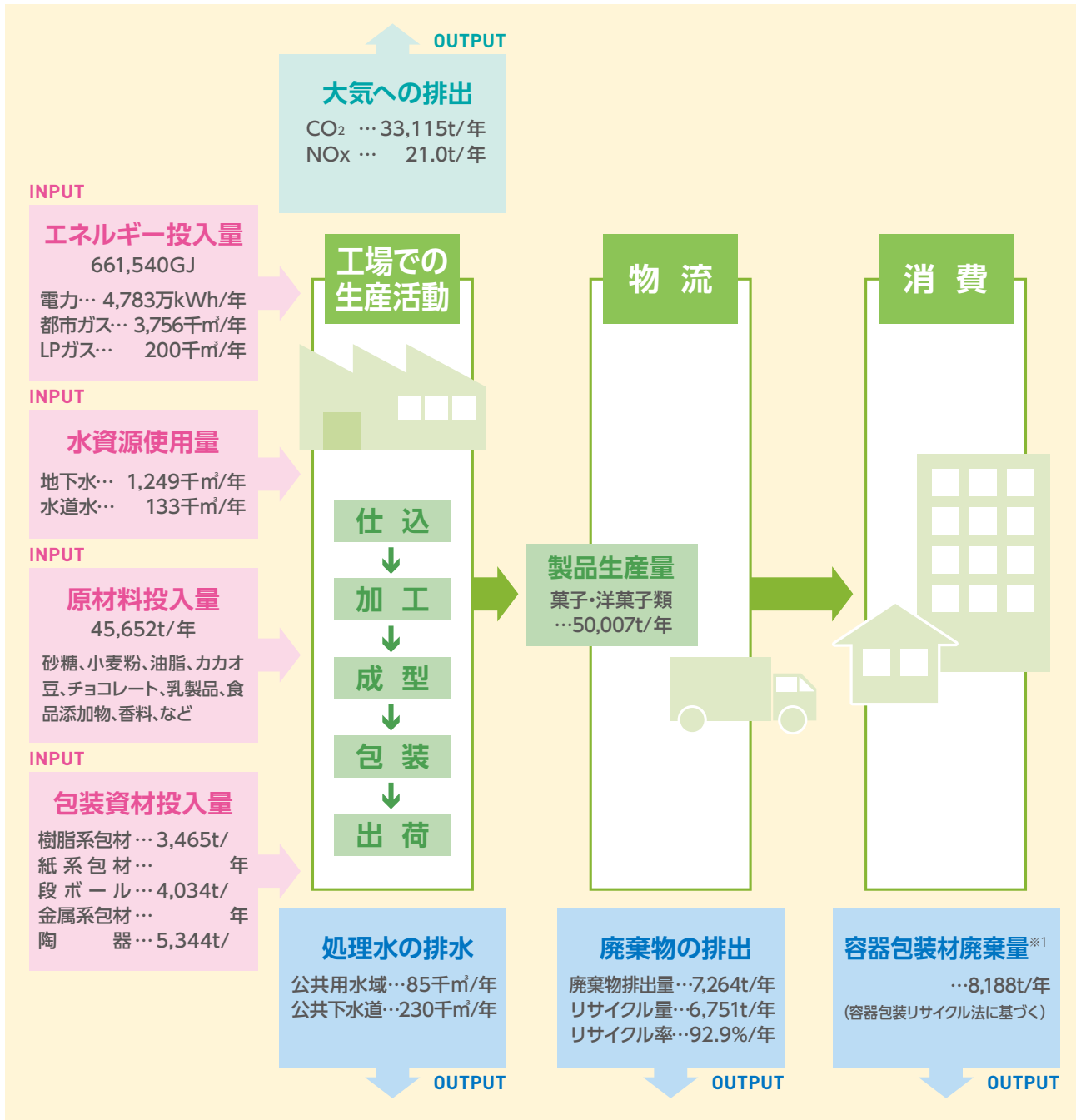
富士裾野工場 工務課 石田 和幸

事業活動のマテリアルバランス

マテリアルバランスとは、事業活動におけるエネルギー及び資源の投入量（インプット）と、その活動に伴って発生した環境負荷物質（アウトプット）をあらわしたものです。

不二家では、事業活動に伴って発生する環境への影響を正しく把握し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

2018年度(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、埼玉工場、野木工場)のマテリアルバランス(2018年1月～2018年12月)



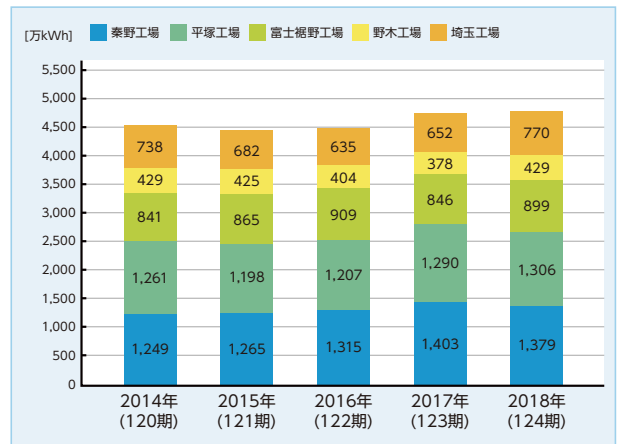
※1: 容器包装材廃棄量は、不二家全体の2017年度実績になります。

地球温暖化防止への取り組み

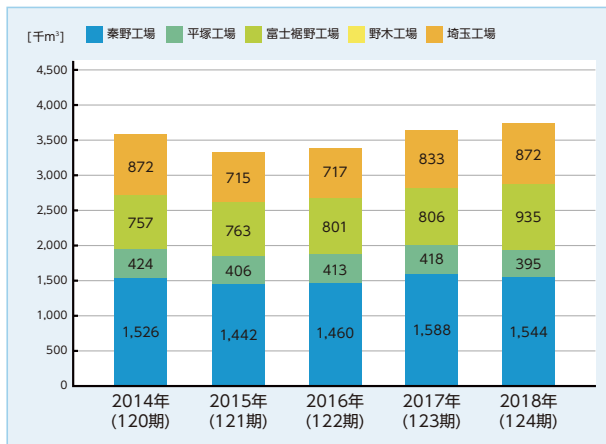
不二家は各事業所・工場において、省エネルギー設備の導入及び合理化や空調設備の運転方式の改善など省エネルギー対策に努めています。今後も、設備の整理統合や新技術の導入検討などエネルギー使用量の削減や合理化に積極的に取り組んでいきます。

エネルギー使用量の推移

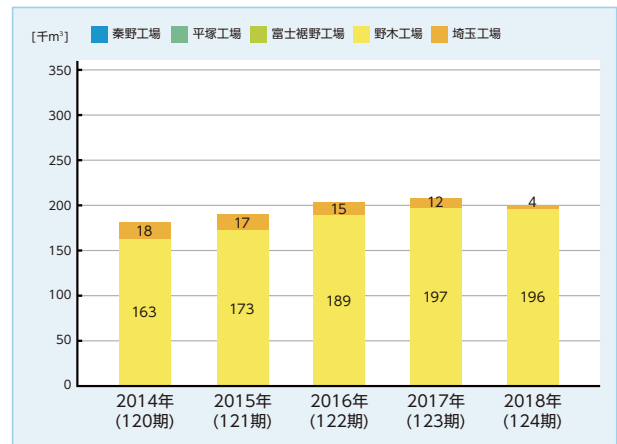
2018年度のエネルギー使用量として、2017年度と比較し電力の使用量は4.7%の増加、都市ガスの使用量は3%の増加、LPガスの使用量は4.3%の減少となっています。増加の主な要因は前年と比較し生産量の増加に伴うエネルギーの増加によるものです。



電力使用量推移



都市ガス使用量推移



LPガス使用量推移

低炭素社会の実現

不二家の各工場では、CO₂の排出量削減対策として、冷凍・冷蔵機、空調機などの設備を環境負荷の低い設備へ順次、更新しています。

平塚工場 空調機節電システム導入による省エネ

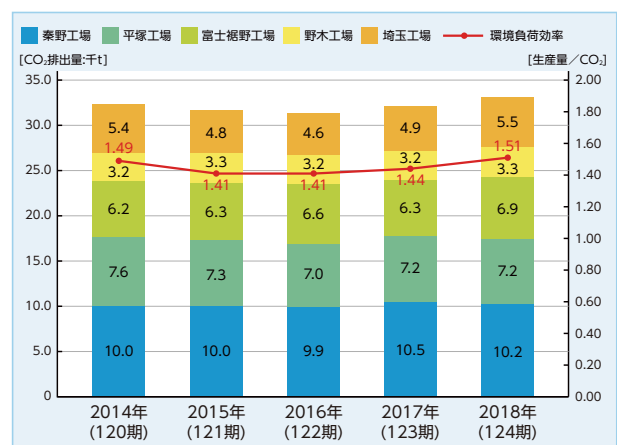
平塚工場のチョコレート包装ラインに設置している空調機7台に省エネ運転制御装置を新設し運転制御したことで、20%の省エネを達成しました。昨年6月から稼働を開始し、半年間で約27,700kWhの電力使用量を削減、CO₂換算で13.8t-CO₂を削減しています。



空調省エネ制御装置



製品外観



工場におけるCO₂排出量と環境負荷効率の推移

各事業所における環境保全活動

不二家の各事業所では、地域社会との交流を図りながら、生物多様性の保全や環境美化の活動に積極的に参加し、企業としての社会的責任を果たしています。

【富士裾野工場・府良川アマゴの放流活動・五竜の滝清掃活動への参加】

富士裾野工場では、2018年10月に「狩野川水系水質保全協議会」が主催するアマゴの放流活動や、裾野市中央公園五竜の滝清掃活動に参加しています。



アマゴの放流活動の様子



五竜の滝清掃活動の様子

【はだのエコスクール】

2018年10月に秦野市立北小学校4年生135名を対象に出張授業を実施しました。秦野市では市内の企業の支援を受け、小学校を対象に環境学習支援事業「はだのエコスクール」を実施しています。今回「食品企業としての環境への取り組み」をテーマに、日本での食品廃棄物や食品ロスの実態、不二家の3R(スリーアール:リデュース、リユース、リサイクル)への取り組み、特に液体飼料化への取り組みについての授業を行いました。多くの児童から質問の手が挙がり、出張授業は盛況のうちに終了しました。



はだのエコスクールの様子

【エコプロダクツで紹介】

2018年12月に東京ビックサイトに開催された国内最大級の環境展示会「エコプロダクツ2018」(主催:社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社)に、山崎製パン株式会社のグループ企業として食品ロスを減らすための取り組みを来場者の方々に紹介しました。



説明している様子



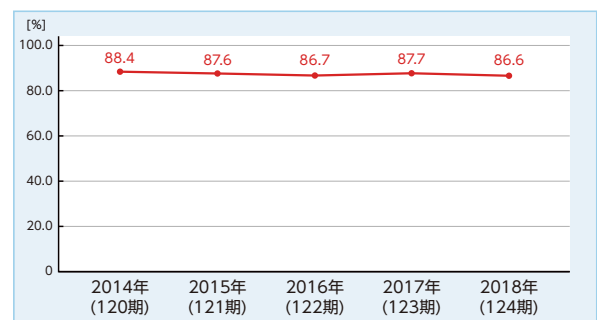
ブースに応援に来たペコちゃん

【食品リサイクルの取り組み】

工場では廃棄物の発生抑制に努めるとともに、製造過程から排出される食品廃棄物を飼料化するなどのさまざまな施策を実行することにより、食品リサイクルに取り組んでいます。今後も継続的に付加価値の高い再資源化に取り組む、限りある資源の有効な循環利用を推進していきます。

不二家の2018年度の食品リサイクル率は86.6%^{※1}となりました。これは店舗や工場より排出される動植物性残さなどの食品廃棄物や、製品廃棄物も含めた全社でのリサイクル率です。

※1:食品リサイクル法に基づく、定期報告のリサイクル率。



食品リサイクル率推移

トラスト活動(不二家ファミリー文化研究所)

【黒姫「ペコちゃんの森」】

不二家ファミリー文化研究所は、自然環境保護活動の一環として、荒廃した森を購入し、その森を整備保護していただける団体にトラスト活動として寄付しました。

また、購入し寄付した森は、寄贈先のご理解を得て、「ペコちゃんの森」と命名し、継続的に整備活動への支援・参加をしています。寄贈先は、環境保護団体「CCC自然・文化創造会議/工場(議長 倉本 聡氏、副議長 C.W.ニコル氏)」です。

この2,000坪強の「小さな森」は、熊笹や渚木の覆い茂った藪そのものでしたが、数年の手入れを経て、徐々に明るさを取り戻し、私たちは2012年にブナやミズナラを植樹しました。今後も定期的に不要な下草を伐採して地面に日光を導き、ブナやミズナラをはじめとする木や草が生い茂る明るい森を作っていくのが目標です。

自然に手を加えることによって、森にどのような変化が生じるのかを観察するのも、森作りの仕事のひとつです。私たちは、徐々に変化している「ペコちゃんの森」の様子を、定期的にウェブサイト内にてご報告しています。この森を通して、自然の力と人間の営みについて学びながら、森林の再生と保護、環境教育活動を継続して行っています。

【従業員による森整備活動】

不二家ファミリー文化研究所では、CCC自然・文化創造会議/工場様のご協力のもと、従業員有志による「ペコちゃんの森」の整備活動を定期的に行っています。

2018年9月13日、長野県黒姫にある「ペコちゃんの森」の森林整備が行われました。近年は毎年7月に整備活動を実施していますが、今年は長野県の豪雨のため急遽延期に。その後2ヶ月を経て再チャレンジし、本社や支店など、さまざまな部署から計11名の社員が参加しました。

今回の整備の目的は昨年と同様、植樹した苗木を覆い隠している下草を刈り、日当たりを良くし、苗木の成長を促すことです。梅雨から真夏にかけて成長した下草は、腰ほどの高さまで茂っており、参加者は夢中で草を刈りました。

整備が終わった森には秋風が吹き渡り、成長した苗木もさらにはっきりと確認できました。苗木は大きいものだと3~4メートルほどにまで成長しており、参加者は安心した表情で森を後にしました。



森について説明を受ける参加者



作業の様子



記念撮影

「ペコちゃんの森」森林整備活動報告2018年9月
<https://www.fujiya-peko.co.jp/mori/forest/clean/>

Voice!

私にとっては2年ぶり、3回目のペコちゃんの森整備活動への参加となりました。今回は夏ではなく秋に近かったためか、綺麗な色のキノコがたくさん生えていたり、木の葉が落ち始めていたり、例年とはまた違った森の顔を垣間見ることができました。

今年も植樹した木々の周りにはたくさんの草が生えており、草の生命力に圧倒されてしまいましたが、少ない人数でも何とか刈り切ることができました。

整備が終わると木々が姿を見せ、とてもスッキリとした様子になりました。この様子を見て、2年前にはまだ小さかった苗木が、少しずつではありますが、着実に成長しているのを実感しました。私もそんな木々のように成長していきたいと感じた整備活動でした。



総務部 岸田 裕也

経営マネジメント

不二家は、コーポレートガバナンスの強化・充実を経営の重要課題の一つとして位置づけ取り組んでいます。当社の「社是」および「経営理念」に基づき、不断の努力により新しい価値と需要を創造するとともに、徹底した改善に絶え間なく取り組み、収益を確保することで、当社の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を目指しています。

コーポレートガバナンスと内部統制

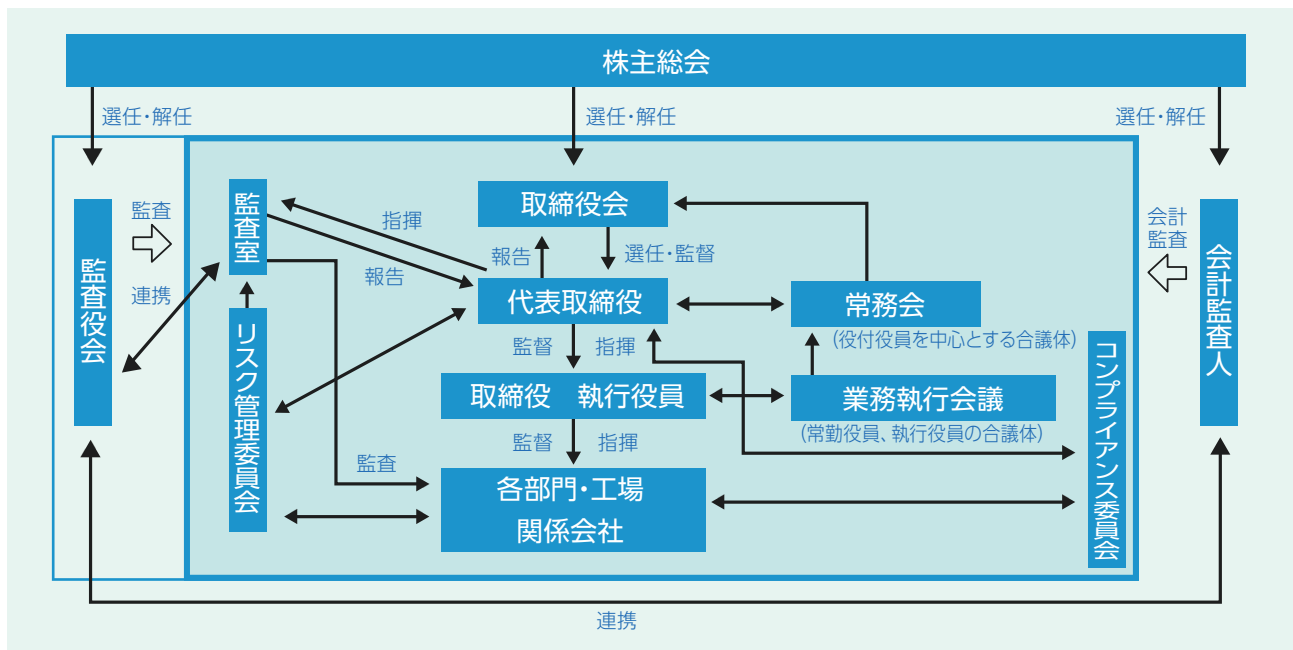
コーポレートガバナンス

不二家は、企業価値向上を目指すためには、株主をはじめとするすべてのステークホルダーとの健全な協働関係を構築することが不可欠であると考え、企業経営の透明性と効率性の向上を図るとともに、コンプライアンスおよびリスク管理の強化を推進し、ご満足いただける魅力的な企業の実現を目指しています。

業務の適正さを堅持するために、取締役会・監査役制度を強化し、グループ全体のガバナンス体制を構築しています。

「取締役会」を経営意思の最高決定機関として位置づけ、主要取締役による「常務会」と、取締役に加え執行役員も出席する「業務執行会議」を、毎月2回を基本に開催しています。これによりガバナンス強化とともに意思決定及び業務執行の迅速化を図っています。

また、関係会社の経営と業務推進の方針決定に資するため、不二家本体の経営陣と関係会社社長との協議機関として、関係会社経営報告会(社長会)を設置し、関係会社への監督・支援を実行しています。



2018年度内部統制システムの整備・運用状況

当社は、企業会計審議会の示す内部統制の基本的枠組みに準拠して、「内部統制システムの整備に関する基本方針」を制定および随時見直しをはかり、内部統制の整備・運用を行っています。

2015年5月1日に「会社法の一部を改正する法律」(平成26年法律第90号)及び「会社法施行規則等の一部を改正する省令」(平成27年法務省令第6号)が施行されたことに伴い、2015年7月29日開催の取締役会において「内部統制システムの整備に関する基本方針」の改定を決議し、改定しました。それに基づき、企業集団の業務の適正と監督および監査の実効性を確保するため、グループ会社すべての会社に派生するリスクに対して、今まで以上にあらゆる可能性を認識し対応できるよう体制を強化し、内部統制システムを運用しています。

また財務報告に係る内部統制についても、内部統制の基本的枠組みに準拠して整備運用していますが、財務報告への影響を勘案し、重要な虚偽記載の発生可能性がある事象に関しては個別に対応しています。

2018年度におきましては、さらなるIT化を図り、財務報告の信頼性を高め、財務報告の信頼性に重要な影響を及ぼす統制上の要点を選定し、その中で自己点検や独立の評価を適正に実施しました。

今後も、業務の適正を確保するために、あらゆるリスクを想定し体制をさらに強化することにより、内部統制の有効性を確保し企業としての社会的責任を果たしていきます。

コンプライアンスの推進

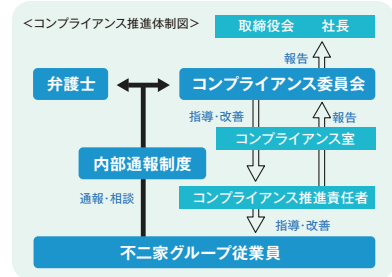
不二家はコンプライアンスを経営の基盤および重要課題と考え、公正かつ誠実な企業活動を行い、社会に対する責任を積極的に果たしています。

社会からの要請に応えるべく、コンプライアンスを「単なる法令遵守にとどめず、社内規程・ルールを守ることに加え、社会倫理にも適合していくこと」と捉え、企業価値向上を目指しています。

コンプライアンス推進体制

コンプライアンス活動を不二家グループ全体で徹底、推進していくため、取締役を委員長とする「コンプライアンス委員会」を設置し、全社的な方針の制定、事故発生時の原因調査と再発防止策の策定などを行い、その結果を必要に応じて社長、取締役に報告及び提案しています。コンプライアンス室ではコンプライアンスについての意識付けや啓蒙教育を継続的に実施しています。

また、内部通報（コンプライアンス・ヘルプライン）制度を導入し、当グループの社会的信頼の維持及び業務運営の公正性の確保に努めています。



2018年度のコンプライアンス教育

従業員のコンプライアンスマインドの醸成・啓蒙を、企業価値向上のために欠くべからざる最重要課題と位置づけ、コンプライアンス教育に継続的に取り組んでいます。

2018年度の教育は、5月から11月の間従業員のコンプライアンス意識の維持・向上を目的に、ビデオを混じえて各事業所で実施しました。

教育の中では、実際の企業不祥事を例にして、発生原因は何か考えることやセクハラ対策シリーズの研修ビデオを視聴して、従業員一人ひとりの意識向上を図りました。

また、新入社員研修、階層別研修、店舗トレーニングなどにおいても、コンプライアンスの基本について教育し、従業員の意識向上に努めています。

内部通報（コンプライアンス・ヘルプライン）制度

グループ各社内の法令違反などの未然防止と早期発見を目的として、内部通報（コンプライアンス・ヘルプライン）制度を導入しています。

この制度は、不二家グループ各社内にある事案や行動が、法令・社内規程・ルール等に違反するかどうかなど、コンプライアンスに関する相談窓口としても機能しています。

この制度を従業員が活発に利用できるよう、全従業員に企業理念や連絡先が入ったコンプライアンスヘルプラインカードを配布しているほか、外部弁護士への連絡窓口を設けることで、通報や相談がしやすい環境作りにも努めています。

リスクマネジメント

リスクマネジメント体制の整備

不二家は食品企業として、常に「食の安全」を最優先の課題とし、食品事故の未然防止と製品の安全性を向上させるため、AIB (American Institute of Baking) 国際検査統合基準による指導監査システムを導入するなど、徹底した食品安全管理体制の確立を図っています。

そのほか、事業活動に重大な影響を及ぼす恐れのある「経営リスク」・「事故・災害（環境）リスク」などに対して、事前にリスクの特定・分類・分析・評価を行い、適切に対応するために「リスク管理委員会」を設置し、迅速かつ最善の対応を図る体制を整備しています。また、必要に応じて、顧問弁護士などの専門家に助言・指導を求めています。

重大な製品事故や職場での災害リスクが顕在化した場合や、顕在化が予想される場合には、社長が委員長を務める「危機管理対策委員会」を召集し、迅速な対応を図る危機管理体制を整備しています。

東日本大震災を契機に、本社・工場では防災意識の向上と避難訓練を実施することはもちろんのこと、営業・工場の主要拠点14ヶ所に衛星電話を設置し、緊急時の連絡体制を整備しています。

情報セキュリティ対策

情報資産を過失、事故、災害、犯罪などの脅威から守り、社会とお客様の信頼に応えるため、情報セキュリティ基本方針を定めています。業務遂行上必要な情報資産について、適切なセキュリティ対策を講じ、不正アクセス、漏洩、改ざん、紛失・毀損などが発生しないよう予防を図っています。

問題が顕在化した際には、速やかに是正するように組織と体制を定め、その役割と責任者を明確にしています。また、関連諸規程並びに情報セキュリティ体制の評価と見直しを定期的・継続的に行い、適切に管理しています。

不二家のあゆみ

創業の精神

横浜開港後の山下町に外国人居留地が、山手に山手居留地がそれぞれ設けられ、両地区を結ぶ場所にあった元町通りには、当時は日本には珍しい喫茶店やベーカリー、洋服店、洋風家具店などが軒を連ね、文明開化を支えました。

そんな新しい文化を、いち早く吸収してきた街、横浜元町で創業したのが不二家です。当時ではとてもモダンなローマ字「FUJIYA」の看板を掲げ、1910年に創業した不二家は、「進取の気鋭」で栄えてきました。

不二家の作った菓子は、居留者の外国人にとっては『懐かしい母国の味』、横浜に住むマダムにとっては『珍しくて新しい文明開化の味』でした。不二家の商品や喫茶を楽しむ時間は、彼女たちの至福の時間でした。

不二家は、ただ単に食料を売っていたのではなく、海外の菓子や喫茶を通して、「心の豊かさ、笑顔の生まれる時間」を提供していたのです。

年	主な出来事
1910年	藤井林右衛門(25歳)が横浜市元町2丁目86番地に洋菓子店を開店
1918年	シュークリーム、エクレアなどの販売始める
1922年	ショートケーキの販売始める(1個8銭) クリスマス製品も販売する
1923年	銀座6丁目店開店
1934年	フランスキャラメル発売
1935年	チョコレート・キャンディの生産開始 ハートチョコレート発売
1938年	株式会社第二不二家を設立 資本金20万円 合名会社不二家を合併 資本金60万円 株式会社第二不二家の商号を、株式会社不二家と改称
1950年	不二家のアイドル「ペコちゃん」誕生 年齢6歳
1951年	ミルクィ発売 「ペコちゃん」のボーイフレンドとして「ポコちゃん」誕生する 年齢7歳
<p>ミルクィがヒット</p> <p>1951年、水飴と練乳、この二つの製菓材料を使用し、洋菓子製造で得た乳の知識を生かしてようやく完成させた新しい味が「ミルクィ」でした。練乳を50%近く使い、思い切ってまるやかな味を出した、全く新しいおいしさ、豊富な栄養、廉価という3拍子が揃った当時としては信じられないほど贅沢で新しいお菓子でした。この商品は「ミルクィ」と名づけられ、洋菓子店で販売するや否や、たちまち話題になりました。当時から、洋菓子店店頭飾られ人気を得ていた「ペコちゃん」をパッケージに使ったことも功を奏し、大ヒット商品となりました。創業者の藤井林右衛門は、多くの子供たちに、おいしくて栄養のある菓子を届けたいという想いから設備を整え、1952年から一般流通への卸売(全国発売)を始めました。「ミルクィ」は洋菓子屋として創業した不二家が、卸売事業に参入するきっかけになった商品でした。</p>	
1952年	ソフトクリーム国産第1号を銀座6丁目店で売り出す クリスマスセール開始
1954年	パラソルチョコレート発売・ポップキャンディ発売
1956年	バレンタインセール開始
1959年	平塚工場(神奈川県平塚市)完成
1960年	モンドセレクション当社第1回の商品出品で金賞をとる
1962年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第二部に株式上場 ルックアラモード発売 札幌工場(北海道札幌市)完成
1963年	フランチャイズ第1号店 京都伏見店開店
1964年	ネクター発売
1965年	東京、大阪、名古屋の各証券取引所市場第一部に株式上場 オバQシリーズ発売
1968年	ホワイトデーセール開始 ノースキャロライナ発売・ホームパイ発売 秦野工場(神奈川県秦野市)・埼玉工場(埼玉県新座市)完成
1969年	野木工場(栃木県下都賀郡野木町)完成
1971年	泉佐野工場(大阪府泉佐野市)完成
1972年	英国ロントリーマッキントッシュ社と技術援助契約を締結(現在は契約解消)



不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
1973年		キットカット発売 ビーアールジャパン株式会社(現B-Rサーティワンアイスクリーム株式会社)を設立し、アイスクリームチェーンに着手
1976年		米国ペプシコ社と合併会社不二家フリトレー株式会社を設立、スナック食品部門に進出(現在は契約解消)
1978年		株式会社不二家ロードサイドレストラン(現株式会社不二家フードサービス)を設立 ロードサイドレストラン1号店 川口青木店開店
1979年		米国ハーシーフーズと技術援助契約及び輸入総代理店契約締結(現在は契約解消) ピーナッツチョコレート発売
1982年	3	仏国ソシエテ・ヌーベル・ダロワイヨ社と技術援助契約及び輸入総代理店契約締結 自由が丘にダロワイヨ1号店を開店
	11	フランチャイズチェーン導入の貢献により通商産業大臣賞受賞
1984年	7	カントリーマアム発売
1989年	6	不二家とネスレ社との間で合併会社ネスレマッキントッシュ株式会社を設立(現在は契約解消)
	10	株式会社ダロワイヨジャパン設立
1990年	6	富士裾野工場(静岡県裾野市)完成
	—	アンパンマン商品発売
1992年	—	ネクター食品ヒット大賞「ロングセラー賞」受賞(日本食糧新聞社主催)
1994年	6	「ペコちゃんのほっぺ」発売
	11	九州工場(佐賀県神埼郡吉野ヶ里町)完成(現吉野ヶ里工場)
1997年	4	不二家ウェブサイト開設
1998年	5	不二家キャラクター人形の「ペコちゃん」「ポコちゃん」が立体商標第一号として特許庁より認められる
2000年	2	「環境宣言」の制定 /ISO14001 認証取得の取り組み開始
	5	容器包装リサイクル法に対処
	9	ネスレマッキントッシュ株式会社の株式売却
	11	埼玉工場 全ボイラーを小型貫流ボイラーに転換
	12	富士裾野工場 廃棄物焼却炉廃止
2001年	3	カフェテリアプラン制度導入
	4	富士裾野工場 ISO14001 認証取得
	8	埼玉工場 全小型貫流ボイラーを都市ガス化
2002年	4	平塚工場、秦野工場 ISO14001 認証取得
	10	埼玉工場 廃棄物焼却炉廃止
	11	「不二家 行動規範と行動指針」の制定
	12	野木工場 廃棄物焼却炉廃止
2003年	3	平塚工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化
	4	野木工場 ISO14001 認証取得
	4	不二家ファミリー文化研究所設立(以下ファミ文研という)
	6	大阪、名古屋 各証券取引所への上場廃止
	7	コンプライアンス委員会設置・コンプライアンス規程制定
	7	環境報告書を初めて発行
	8	ファミ文研 ペコちゃんの森トラスト活動開始
	10	埼玉工場 ISO14001 構築・運用開始
2004年	2	不二家(杭州)食品有限公司を中国現地法人として設立
	6	秦野、平塚、富士裾野各工場を統合し湘南工場発足
	10	埼玉工場 ISO14001 認証取得
2005年	7	個人情報保護基本規程制定
	7	ISO9001 認証取得の取り組み開始
	12	秦野工場 全小型貫流ボイラーの都市ガス化



不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
2006年	1	「品質方針」の制定
	3	泉佐野工場 廃棄物焼却炉廃止
	4	定年退職者再雇用制度開始
	6	ISO9001 認証取得(菓子事業本部、品質保証部、調達部)
	10	秦野工場 汚水処理施設の汚泥減容化装置を稼働開始
	10	泉佐野工場 ISO14001:2004 認証取得
	10	湘南工場を菓子3工場(秦野工場、平塚工場、富士裾野工場)に組織分離
2007年	1	「『外部から不二家を変える』改革委員会」発足
	1	「信頼回復対策会議」発足
	1	富士裾野工場 ボイラー・オープン設備を都市ガス化 (環境省:自主参加型国内排出量取引制度に菓子業界として初の参加)
	2	AIB フードセーフティの取組開始
	2	山崎製パン株式会社と食品安全管理体制整備の支援に関する覚書を締結
	2	秦野工場・平塚工場・富士裾野工場 AIB 監査 一定の評価を得る
	3	山崎製パン株式会社と業務資本提携を締結
	3	埼玉工場・泉佐野工場・九州工場・野木工場 AIB 監査 一定の評価を得る
	4	山崎製パン株式会社に対する第三者割当増資を実施
	5	「外部から不二家の発展を見守る会」発足
	6	CSR 推進部・食品安全衛生管理本部設置/内部統制システム構築着手
	7	フード連合様を通じ菓子製品在庫の無償提供を実施
12	「企業理念」「行動規範」改訂	
2008年	1	ISO9001 認証登録維持・継続 (菓子事業本部、食品安全衛生管理本部、秦野工場、平塚工場、富士裾野工場、施設部、購買部)
	1	「不二家食品安全の日」制定・第1回「不二家食品安全の日」式典
	4	内部統制システム運用開始
	6	本社部門移転に伴い、本店所在地変更
	6	富士裾野工場 CO ₂ 排出枠(2007年度分) 300tを償却 (環境省:自主参加型国内排出量取引制度)
	10	食に関するオピニオンリーダーによる工場見学(秦野工場) 実施
	11	山崎製パンと新たな業務資本提携を締結(山崎製パンの子会社となる)
2009年	1	第2回「不二家食品安全の日」式典
	2	埼玉工場で「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	3	野木工場で「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	5	富士裾野工場が食品リサイクル率100%を達成
	6	平塚工場操業50周年記念式典
	8	平塚工場で「不二家生産方式」の確立に向けた「本物の5S」活動キックオフ
	8	銀座ペコちゃんミュージアム開催(期間限定:8/24～9/6)
	9	障がい者雇用優良事業所表彰を受ける
	2010年	1
1		平塚工場が食品リサイクル率100%を達成
2		富士裾野工場が「食品産業 CO ₂ 削減大賞」(主催:(株)日本総合研究所 後援:農林水産省) 優良賞を受賞
4		「本物の5S活動発表大会」開催
4		埼玉工場 埼玉県食品衛生自主管理優良施設として確認票交付
創業100周年記念事業		
8		「ペコちゃんの歌」発表(作曲・編曲:久石譲、作詞:久石麻衣)
8		「ペコちゃんスマイルコンテスト」最終審査&授賞式
9~10		「ペコちゃんが行く!不二家キャラバン隊」(児童施設77ヶ所訪問)
11		「おしゃべり店頭ペコちゃん人形」登場
11		「銀座ペコちゃんミュージアム」開催(期間限定:11/1~11/21)
10	「第2回本物の5S活動発表大会」開催	
11	秦野工場が「神奈川県地域共生型工場等」として神奈川県より表彰	



不二家のあゆみ

年	月	主な出来事
2011年	1	第4回「不二家食品安全の日」式典
	4~5	ペコちゃん被災地訪問(福島県いわき市、岩手県、宮城県)
	7	夏場の節電対策実施
	8	「銀座ペコちゃんミュージアム」開催(期間限定8/19~9/4)
	12	「銀座ペコちゃん・Winter shop」開催(期間限定12/10~12/25)
2012年	1	第5回「不二家食品安全の日」式典
	1	東日本大震災時の食糧支援に対し、農林水産省より表彰
	3	第1回「不二家防災の日」式典
	6	埼玉工場で火災発生
	8	銀座ペコちゃん サマーフェスタ開催(8/24~9/2)
2013年	1	第6回「不二家食品安全の日」式典
	1	「スマイル運動」開始
	3	8期ぶりに復配
	4	ひろしま菓子博2013に参加
	6	第2回「不二家防災の日」式典
2014年	8	銀座ペコちゃん サマーフェスタ開催(8/23~9/1)
	1	第7回「不二家食品安全の日」式典
	2	『「スマイル運動」推進のための5S活動報告会』開催
	4	株式会社スイートガーデンが不二家の完全子会社化
	6	第3回「不二家防災の日」式典
2015年	1	第8回「不二家食品安全の日」式典
	5	ミラノ万国博覧会のサテライト企画にペコちゃんが協力
	6	第4回「不二家防災の日」式典
	7	平塚市美術館にて「ペコちゃん展」開催(7/11~9/13)
	11	「カントリーマムFACTORY」ららぽーとEXPOCITY店がオープン
2016年	1	第9回「不二家食品安全の日」式典
	2	日本食料新聞社より「ミルクィー」がロングセラー特別賞を受賞
	6	第5回「不二家防災の日」式典
	9	東日本大震災被災地支援食品販売会を実施
	12	ペコちゃん被災地訪問(熊本県上益城郡、菊池郡)
2017年	12	台湾にFC一号店オープン
	1	第10回「不二家食品安全の日」式典
	4	お伊勢さん菓子博2017(4/21~5/14)に参加
	6	第6回「不二家防災の日」式典
	9	文京区子ども宅食プロジェクトに協力
2018年	10	野木工場「栃木地方産業安全衛生大会」で表彰
	11	秦野工場「神奈川県環境保全功労者表彰」で団体表彰
	1	DALLOYAU(ダロワイヨ)の日本国内における商標権を取得
	1	第11回「不二家食品安全の日」式典
	3	銀座数寄屋橋不二家広告塔(現ペコちゃんビジョン)をLEDビジョンへリニューアル
2019年	6	第7回「不二家防災の日」式典
	10	不二家公式Twitterスタート
	11	明治大学産学連携研修スタート
	1	第12回「不二家食品安全の日」式典
	3	不二家サンヨー(株)が不二家飲料果実(株)へ社名変更
3	日本橋三越本店に「西洋菓子舗 不二家」オープン	
4	熊本県等と「熊本県産農産物等の利用促進に係る連携協定」締結	





株式会社 不二家

〒112-0012 東京都文京区大塚 2-15-6

ウェブサイト <https://www.fujiya-peko.co.jp/>



© FUJIYA CO., LTD.

■お問い合わせについて

お便りの場合：〒112-0012 東京都文京区大塚2-15-6 株式会社不二家 広報IR部
Eメールの場合：不二家ウェブサイト内のお問い合わせ専用フォーム内をご利用ください。

本報告書記載記事の
無断転載・複製を禁じます。